

## 専門試験（少年補導職員）

[例題1] ホリングワース（Hollingsworth, L.S.）による心理的離乳に関する記述として妥当なのはどれか。

1. 青年期に生じる，家族の監督から離れ一人の独立した人間になろうとする試みのことである。
2. 出産直後から1週間頃までの母親に見られる一過性の気分と体調の障害のことである。
3. 2歳，3歳頃の子どもに，自我の発達により反抗的行動が出現してくることである。
4. 養育者の喪失や養育者との分離等によって，子どもが十分に特定他者との関係性を享受できなくなる状態のことである。
5. 乳幼児が乳房による満足の代わりに，ぬいぐるみなどで母親からの分離不安を防御することである。

[例題2] 次の記述ア～ウは、デュルケムが『自殺論』において論じた自殺の類型に関するものである。記述と類型の組合せがいずれも妥当なのはどれか。

- ア. 社会的規制が過度に弱い状態で、人々の欲望が社会によって規制されなくなることによって生じる自殺のことである。
- イ. 社会集団の統合度が過度に弱いときに、生きる意味や目的を失うことによって生じる自殺のことである。
- ウ. 社会集団の統合度が過度に強く、個人が集団の中に埋没している状況下で生じる自殺のことである。

ア	イ	ウ
1. アノミー的自殺	自己本位的自殺	集団本位的自殺
2. アノミー的自殺	集団本位的自殺	宿命적自殺
3. 自己本位的自殺	アノミー的自殺	集団本位的自殺
4. 自己本位的自殺	アノミー的自殺	宿命적自殺
5. 宿命적自殺	自己本位的自殺	アノミー的自殺